

蒙古族の大發展

祖先は塞種族

月氏となり烏孫となる

大陸を震動せしめ、遠く我國にまで來寇せしこと有るは、何人も疾く熟知する所とす。彼の有名なる奇傑成吉思汗は、實に此の種族より出てたるなり。

彼等の出所、即ち最古の本源地は、未だ何處なるかを審かにせずと雖も、惟ふに其の祖先は塞種族（一説に釋尊は塞種族なりとあり）にして、一たび、月氏國民或は烏孫國民と爲なりたるものゝ如し、漢書西域傳に、

塞種分散、往々成數國、自疏勤（今の喀什噶爾）以北、休循、損毒、屬、皆故塞種也

と在るに觀ても、塞國の分散して、或は月氏國と爲り、或は烏孫國と爲りたるを察するに難からず。又露國のクルバツキン氏著、喀什噶爾誌に、

當時月氏破れて西走せし時、其の一部は天山を北に越えて伊犁の谷間に入り、一部は南に超えて印度谷間に出で、其の餘は東土耳其機斯坦に留りて、塞及「ヤート」種族と混和せり

と又佛國の傳教師ユグ氏の說に『月氏の伊犁谷間に入りし者は、即ち吐爾扈特なり』と其の月氏部族の伊犁谷間に入りたるは、所謂當時烏孫國たる伊犁に歸服したる者、其の東土耳其機斯坦に留りたる者は、即ち回部に歸したる者なり。又或る